



2017年2月期決算・中期経営計画

スター精密株式会社
<http://www.star-m.jp>
証券コード 7718

2017年4月14日

2017年2月期決算

■当期の概況	P 2
■財務情報	P 3
■事業別売上高	P 4
■四半期情報（売上高・営業利益）	P 5
■事業別概況	P 6
■設備投資/研究開発費	P 9
■貸借対照表	P 10
■キャッシュ・フロー	P 11
■主な経営指標	P 12
■株主還元	P 13
■経営指標の推移（過去10年間）	P 14

前期比で減収減益

■ 売 上 高	489.3億円	△10.1%	(前期比)
■ 営 業 利 益	36.0億円	△37.1%	(")
■ 経 常 利 益	35.8億円	△31.2%	(")
■ 親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	31.8億円	△14.5%	(")

✓ 円高の影響に加え、工作機械などで販売が減少したこともあり、
前期比で減収減益

(百万円)

	2016年2月期 実績			2017年2月期 実績			2018年2月期 予想						
	通期		通期		上期		下期		通期				
	金額	利益率 (%)	対前期比 (%)	金額	利益率 (%)	対前期比 (%)	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	
売上高 特機	11,381		△1.5	11,081		△2.6	5,790		6,450		12,240		10.5
工作機械	38,150		10.3	33,629		△11.9	16,340		18,060		34,400		2.3
精密部品	4,926		2.1	4,226		△14.2	2,070		2,430		4,500		6.5
クラウドサービス ^{※1}	-		-	-		-	-		60		60		-
合計	54,457		6.9	48,937		△10.1	24,200		27,000		51,200		4.6
営業利益 特機	1,744	15.3	0.3	1,703	15.4	△2.4	700	12.1	1,020	15.8	1,720	14.1	1.0
工作機械	5,843	15.3	8.2	4,372	13.0	△25.2	2,080	12.7	2,720	15.1	4,800	14.0	9.8
精密部品	593	12.0	△14.3	284	6.7	△52.0	160	7.7	310	12.8	470	10.4	65.0
クラウドサービス ^{※1}	△202	-	-	△357	-	-	△130	-	30	50.0	△100	-	-
消去又は全社	△2,243			△2,396			△1,130		△1,160		△2,290		
合計	5,735	10.5	4.7	3,606	7.4	△37.1	1,680	6.9	2,920	10.8	4,600	9.0	27.5
経常利益	5,206	9.6	△15.4	3,583	7.3	△31.2	1,780	7.4	3,020	11.2	4,800	9.4	33.9
親会社株主に帰属する当期純利益	3,720	6.8	△20.8	3,181	6.5	△14.5	1,300	5.4	2,400	8.9	3,700	7.2	16.3

※ 1. クラウドサービスにつきましては、決算短信等の他の開示資料においては、特機事業に含めて記載しております

ROE (%) ^{※2}	7.4	6.9			8.5
1株当たり配当金	46円	48円			50円
DOE (%) ^{※3}	3.9	4.1			4.3

※ 2. ROE（自己資本当期純利益率）＝親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本(期首・期末平均) ×100(%)

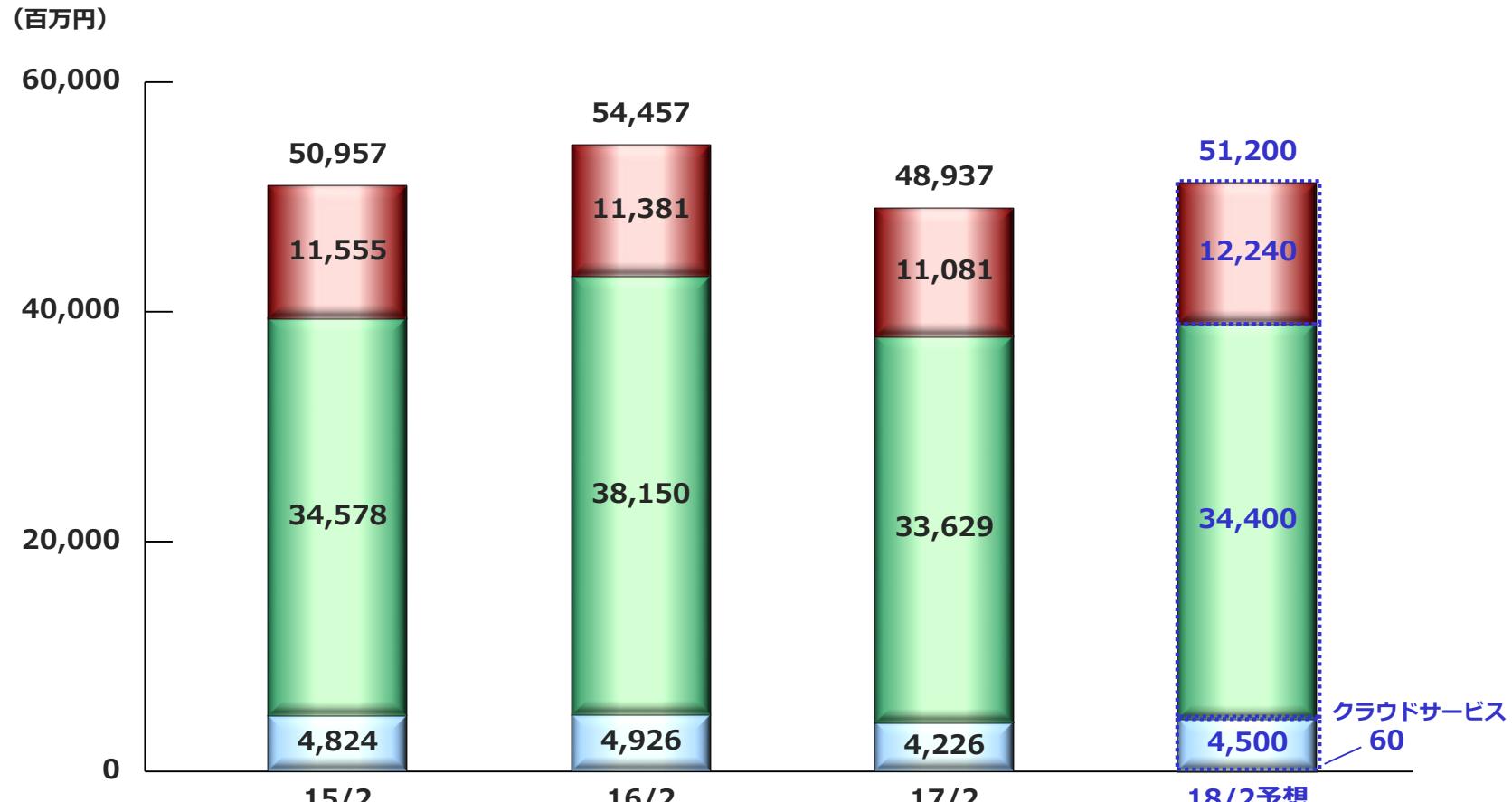
※ 3. DOE（株主資本配当率）＝普通株式に係る1株当たり個別配当金（年間）÷1株当たり連結純資産（期中平均）×100(%)

為替 レート	通期予想レート				為替感応度 ^{※4}
	U S \$	121.05円	108.87円		110.00円 31百万円
	E U R	134.32円	120.36円		115.00円 47百万円
	G B P	185.12円	147.79円		135.00円 7百万円
	C H F	125.97円	110.41円		110.00円 22百万円

※ 4. 為替感応度は、外貨1円当たりにおける営業利益影響度

事業別売上高

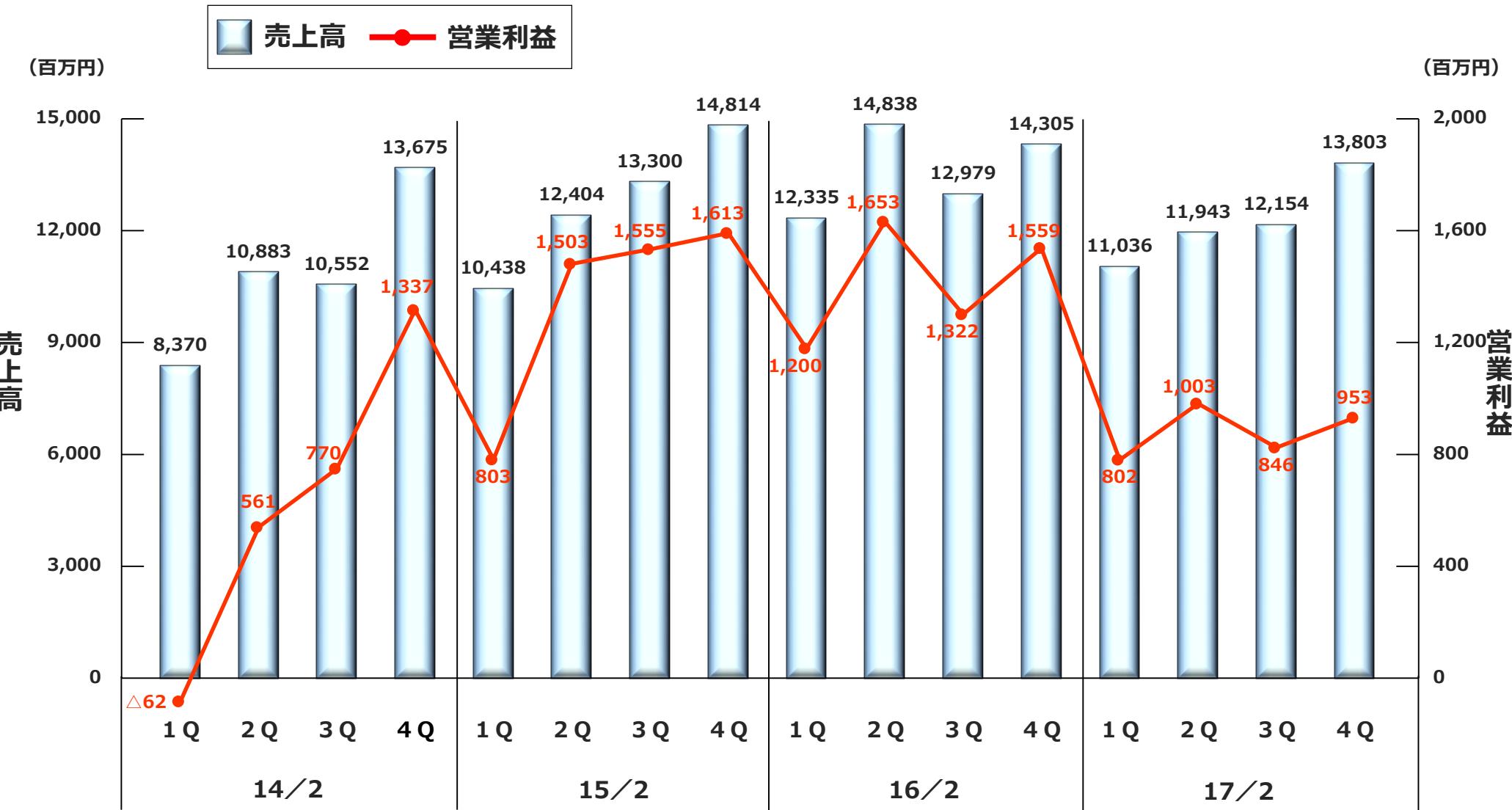
star

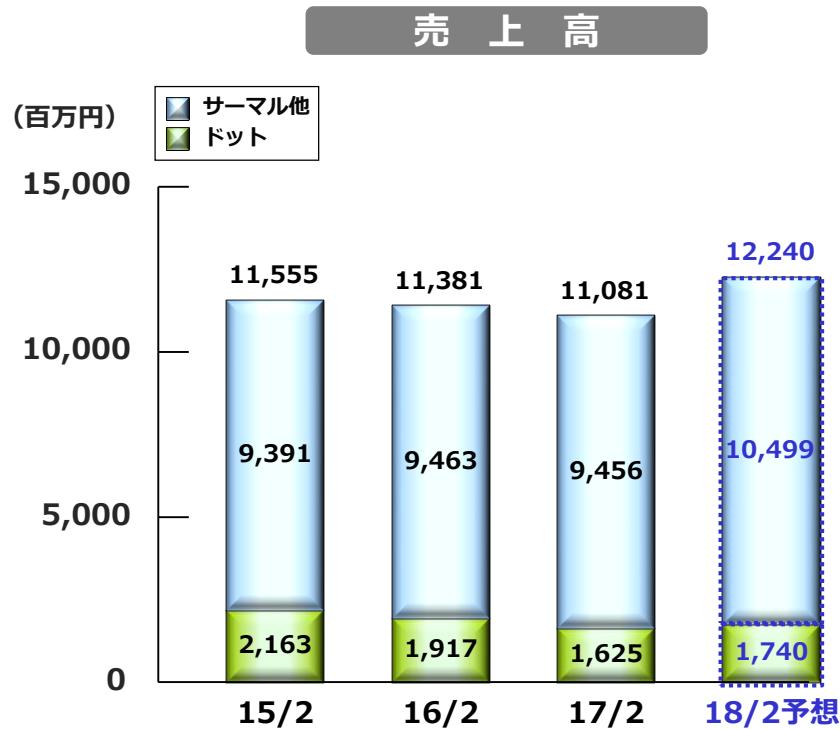


■ 特機 ■ 工作機械 ■ 精密部品 ■ クラウドサービス

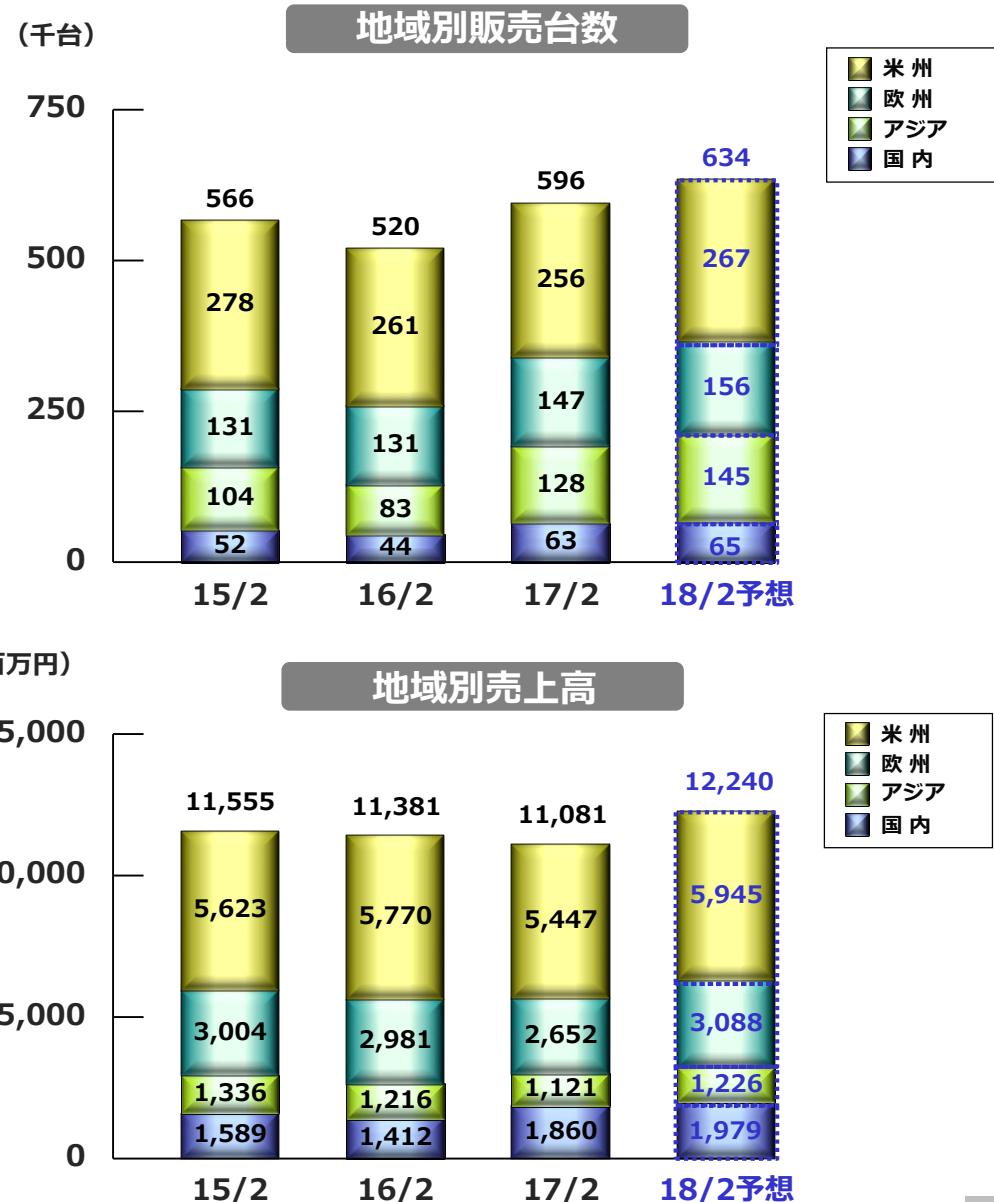
四半期情報（売上高・営業利益）

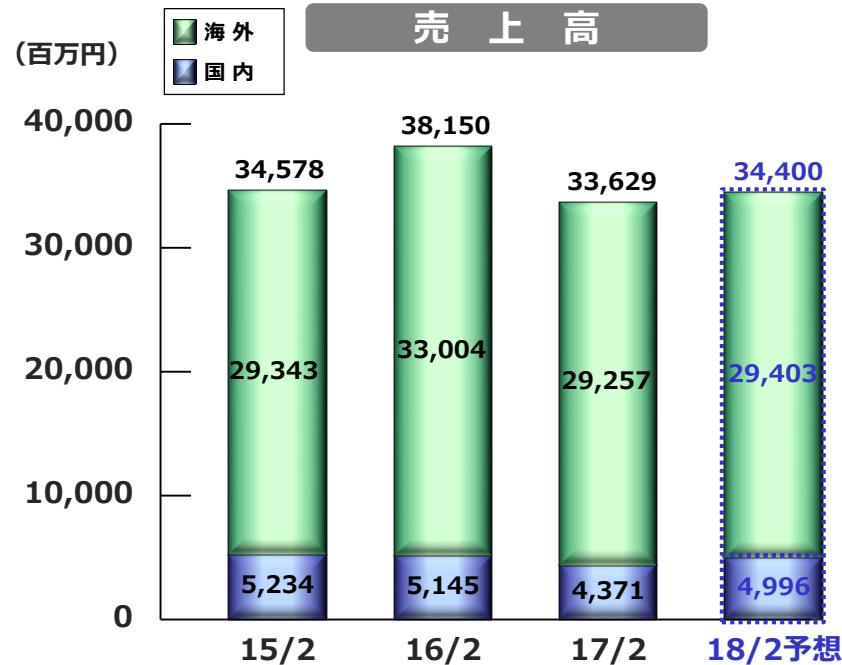
star





- ・米国市場、欧州市場およびアジア市場は円高の影響により売上は減少
- ・国内市場はmPOS向けの販売が好調に推移し売上は大幅に増加



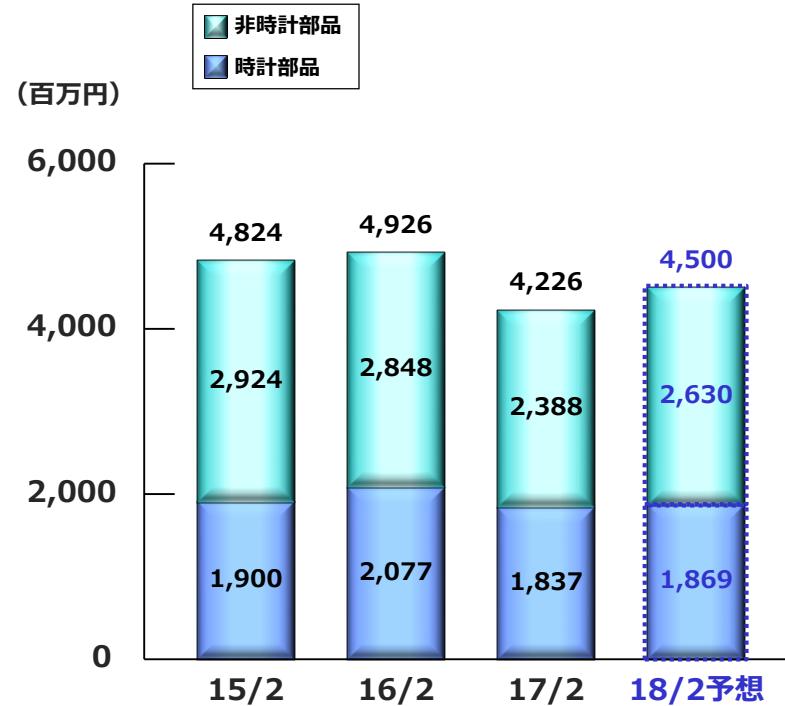


- ・米国市場は円高の影響を受けるなか、期の後半にかけ主力の医療関連を中心に好調に推移し売上は増加
- ・欧州市場は東欧などの新興国や、ドイツなどの主要国でも販売が伸び悩んだことや円高の影響により売上は大幅に減少
- ・アジア市場は中国での販売は好調に推移したが、その他の地域の落ち込みや円高の影響もあり売上は減少
- ・国内市場は設備投資に慎重な姿勢がみられ売上は減少

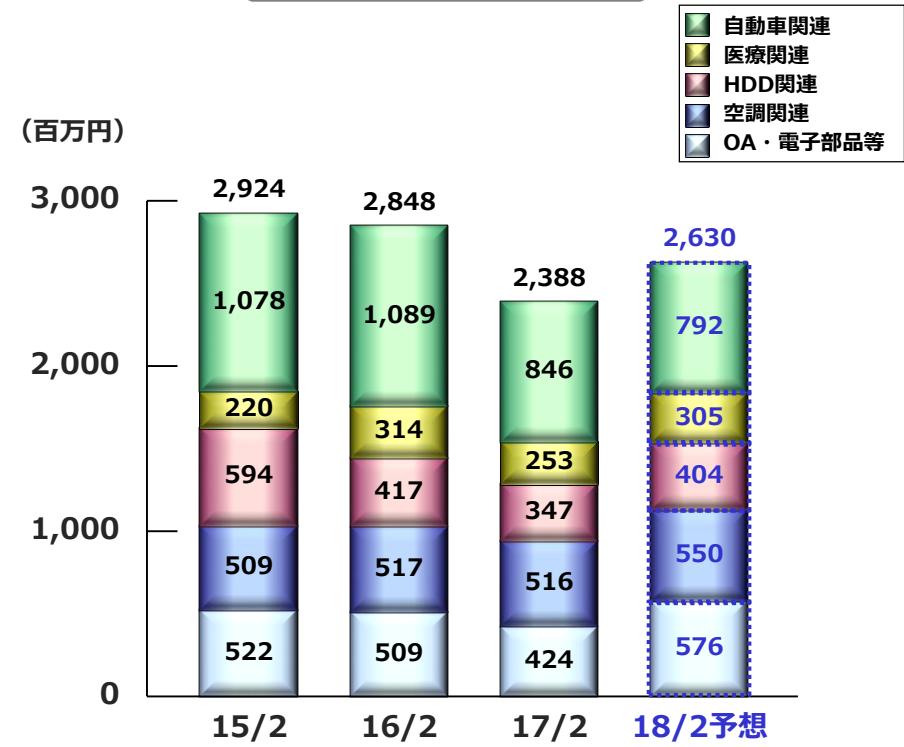




売 上 高



非時計部品売上高

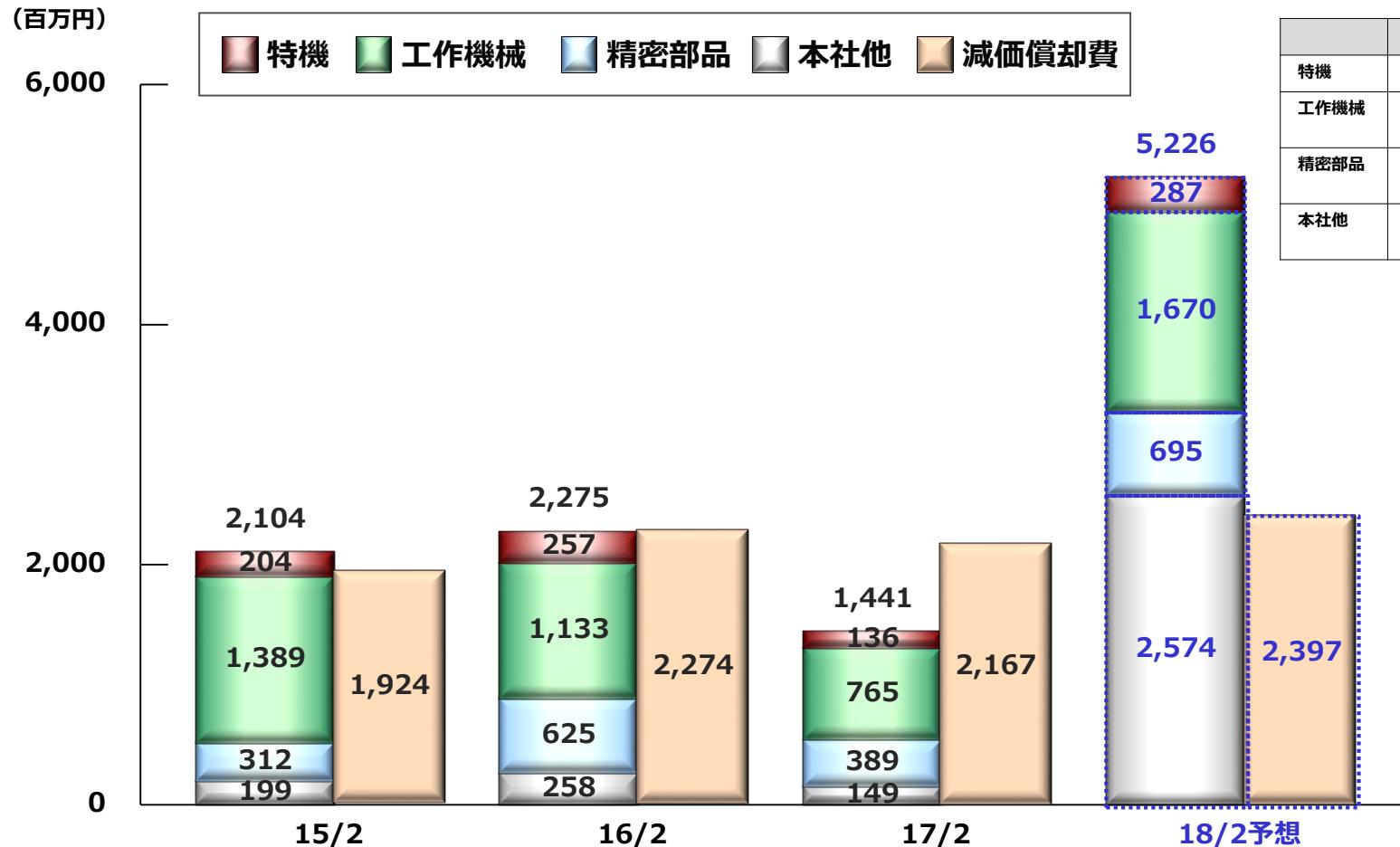


- ・時計部品は腕時計メーカーの生産調整の影響もあり
売上は減少
- ・非時計部品は自動車部品などの減少や円高の影響に
より売上は減少

設備投資／研究開発費

star

設備投資



【主な設備投資予定】

	内 訳
特機	新製品用の金型等
工作機械	維持更新用の設備、新製品用治具等
精密部品	新工程用設備、合理化・省力化用の設備等
本社他	新本社ビル、システム関連等

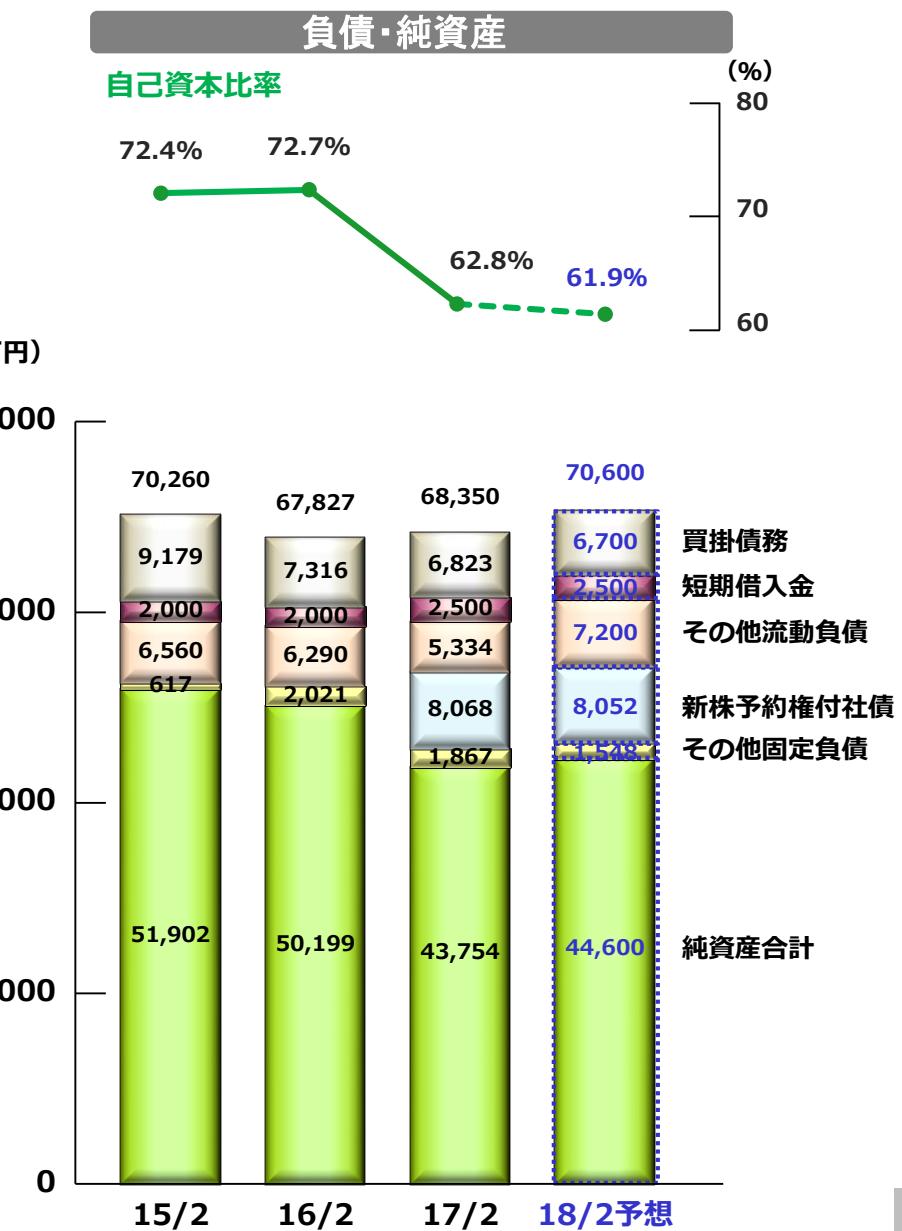
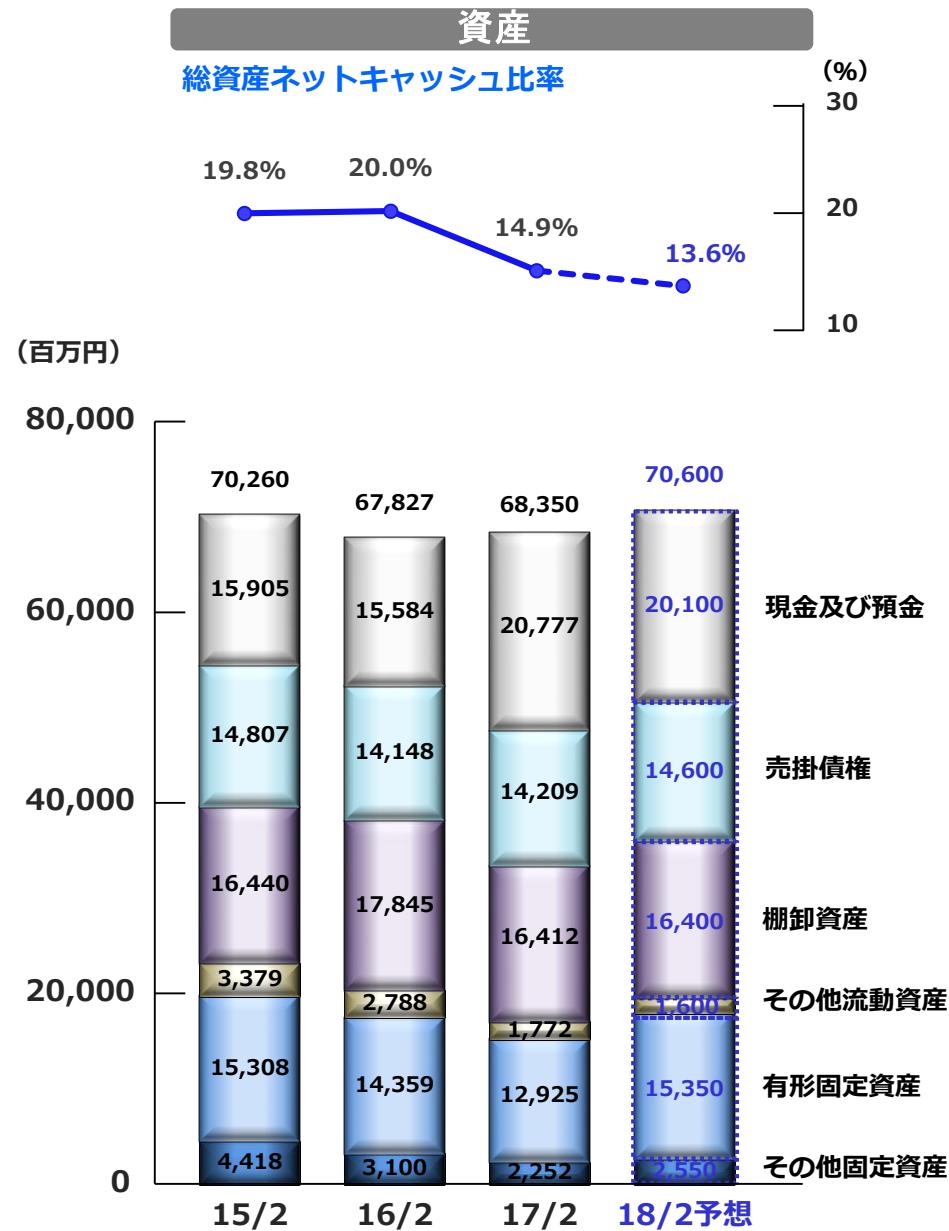
研究開発費

(金額：百万円)

	15/2	16/2	17/2	18/2 予 想
研究開発費	1,947	2,005	2,032	1,836

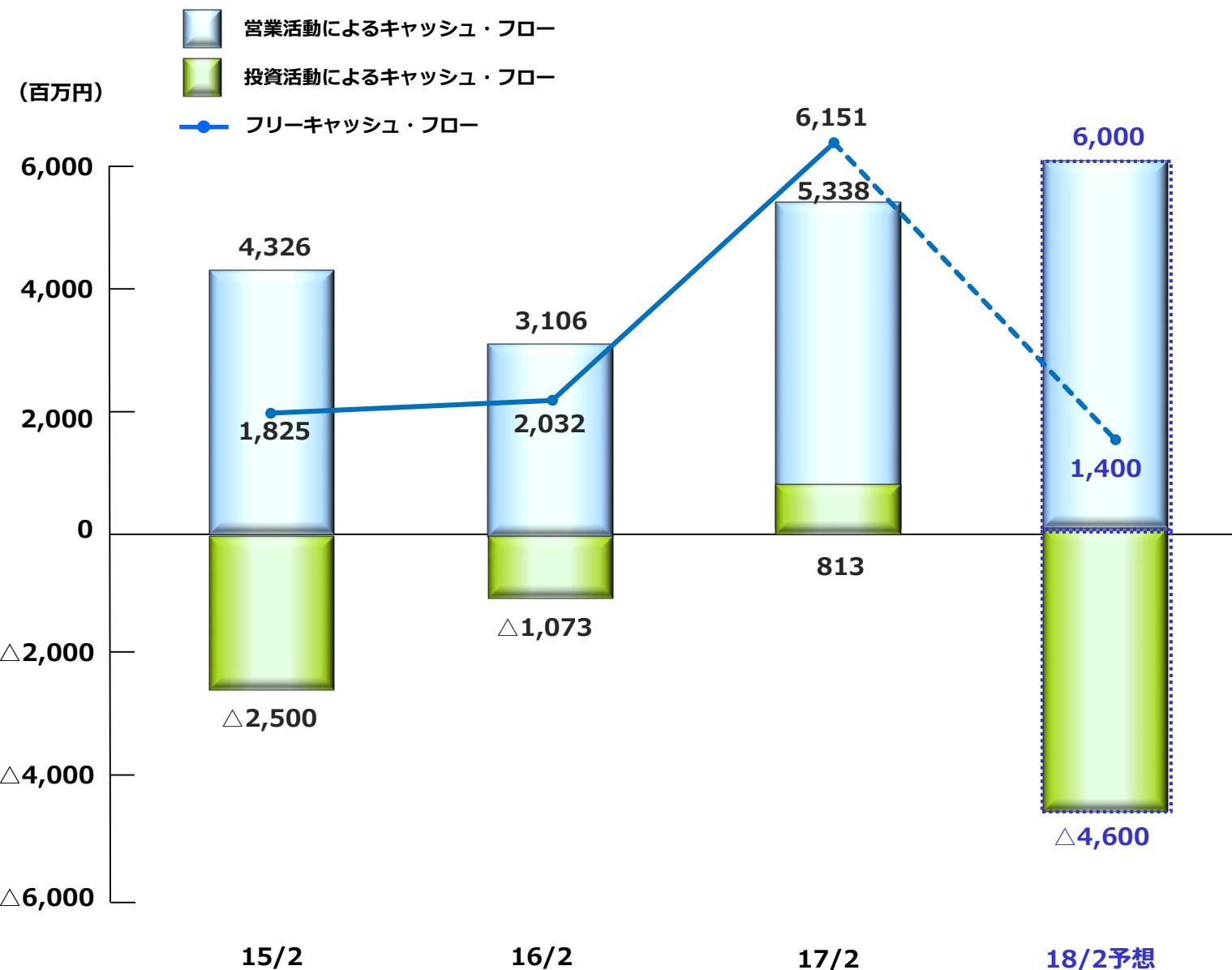
貸借対照表

star



キャッシュ・フロー

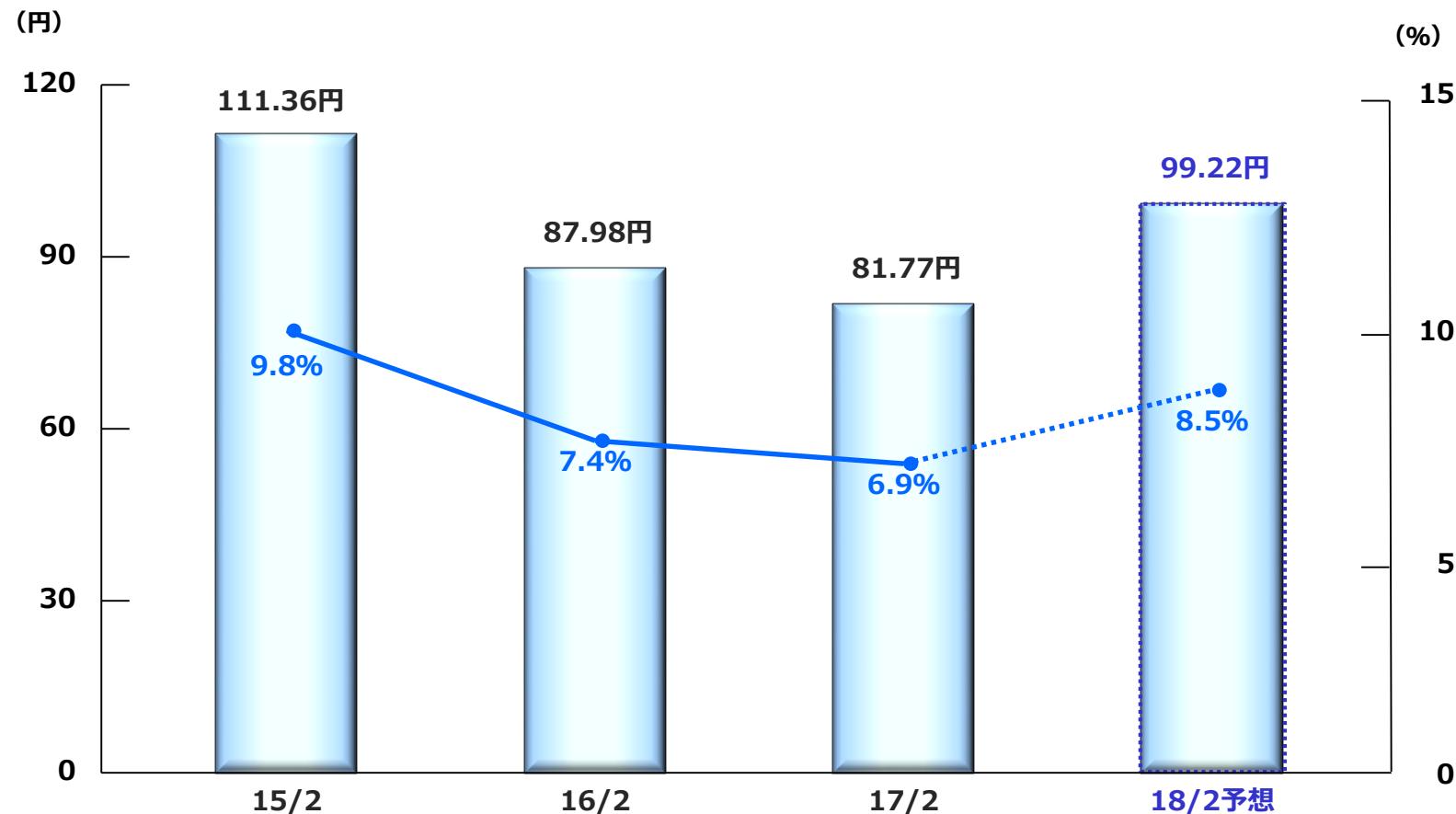
star



主な経営指標

star

- EPS (1株当たり当期純利益)
- ROE (自己資本当期純利益率)

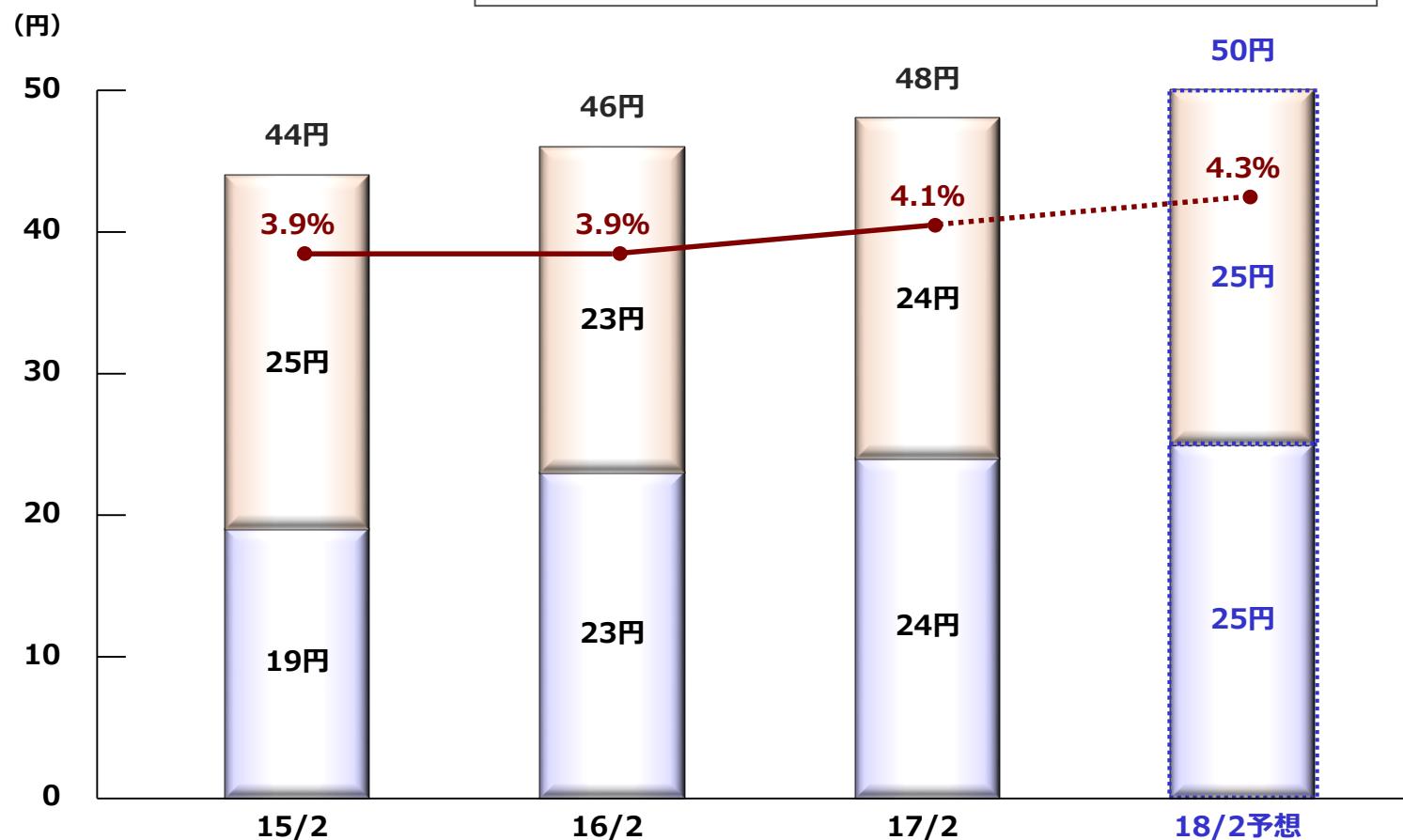


株主還元

star

- ・総還元性向・・・50%以上
- ・目標D O E ・・・4.5%以上

- 1株当たり期末配当金 ■ 1株当たり中間配当金
 ● D O E (株主資本配当率)



総還元性向	(39.5%)	(52.3%)	(257.3%)	50%以上
配当性向	39.5%	52.3%	58.7%	-

経営指標の推移（過去10年間）

star

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)		経常利益 (百万円)		親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)		E P S (円)	R O E (%)	D O E (%)	1株当たり 年間配当金 (円)
		利益率 (%)	利益率 (%)	(%)	(%)	(%)	(%)				
2008年2月期	73,883	14,651	19.8	15,170	20.5	8,080	10.9	150.74	12.8	4.7	56.0
2009年2月期	56,952	8,544	15.0	8,923	15.7	4,338	7.6	85.66	7.3	3.8	45.0
2010年2月期	29,180	△3,984	-	△3,884	-	△8,555	-	△187.95	-	2.2	22.0
2011年2月期	35,717	1,428	4.0	1,194	3.3	161	0.5	3.71	0.4	2.5	22.0
2012年2月期	41,654	3,952	9.5	4,025	9.7	2,426	5.8	56.94	6.7	3.0	26.0
2013年2月期	37,858	1,579	4.2	2,254	6.0	2,299	6.1	54.66	6.0	3.3	30.0
2014年2月期	43,481	2,606	6.0	3,219	7.4	1,143	2.6	27.17	2.7	3.4	34.0
2015年2月期	50,957	5,476	10.7	6,150	12.1	4,695	9.2	111.36	9.8	3.9	44.0
2016年2月期	54,457	5,735	10.5	5,206	9.6	3,720	6.8	87.98	7.4	3.9	46.0
2017年2月期	48,937	3,606	7.4	3,583	7.3	3,181	6.5	81.77	6.9	4.1	48.0
2018年2月期(予想)	51,200	4,600	9.0	4,800	9.4	3,700	7.2	99.22	8.5	4.3	50.0

中期経営計画

■ 中期経営方針	P 1 6
■ 業績目標	P 1 8
■ 事業別戦略・目標	P 1 9
■ 数値目標	P 2 3
■ 株主還元	P 2 4

中期ビジョン

先進のソフトウェアと融合した精密加工技術により、
顧客満足の最大化を図り、
創出した付加価値の分配により、
全てのステークホルダーの幸福を追求する
グローバルニッチ企業

基本方針

①既存事業の変革

- IoT社会の中で求められる精密加工技術の追求
- ソフトウェア技術を融合した事業体への変革
- 付加価値を最大化する生産体制の追求

②新規事業の創出・育成

- 第4の事業の創出（M&A、事業提携等）
- 新規事業、新製品の育成（振動発電、クラウドサービス等）

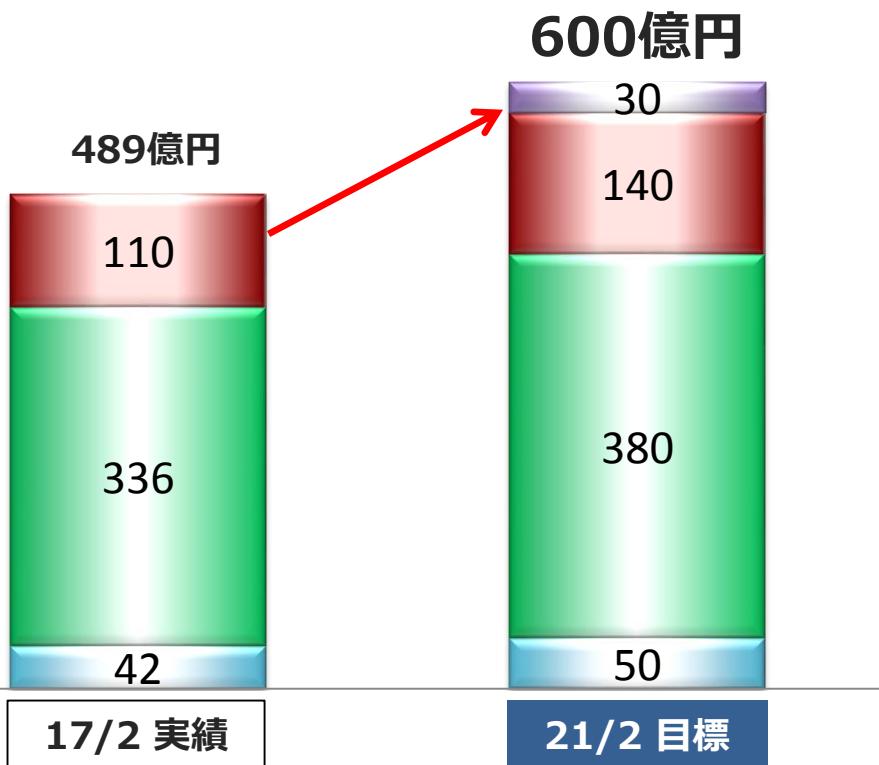
③真のグローバル企業への変革

- グローバル人材の育成、登用
- さらなる販売チャネルの強化

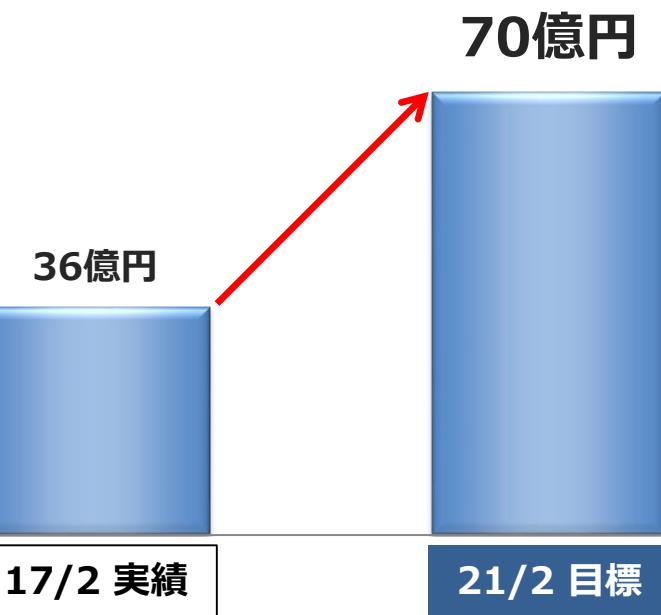
既存事業の拡大と新規事業による成長

売上高

■ 特機 ■ 工作機械 ■ 精密部品 ■ 新規事業



営業利益



		17/2 実績	21/2 計画
為替レート	US\$	108.87円	110.00円
	EUR	120.36円	115.00円

戦略（重点施策）

- 高付加価値製品の開発
- Brexitを見据えた欧州販売拠点の再編
- サプライチェーン効率化によるコストダウン

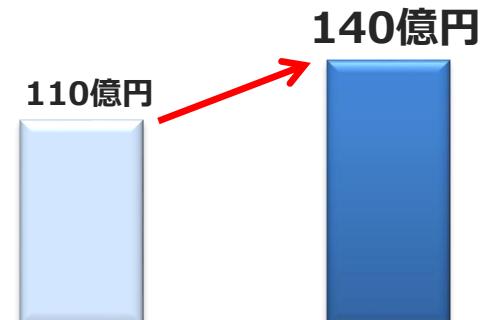


数値目標

売上高

17/2 実績

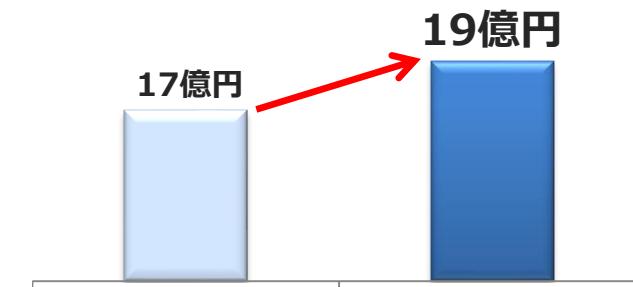
21/2 目標



営業利益

17/2 実績

21/2 目標



戦略（重点施策）

- 主軸固定型自動旋盤のシリーズ化
- IoT関連ソフトの開発
- モジュラー設計・生産によるリードタイム短縮と在庫削減
- 中国におけるサービス体制強化



数値目標

売上高

17/2 実績

21/2 目標

380億円

336億円

営業利益

17/2 実績

21/2 目標

60億円

43億円

戦略（重点施策）

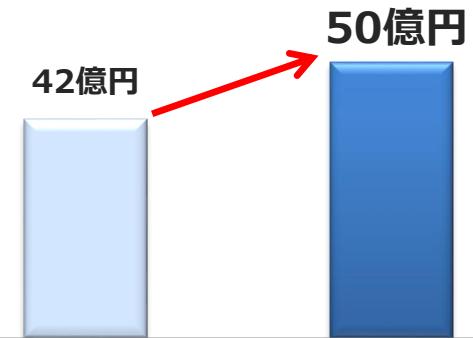
- 新規顧客および市場の開拓
- 生産の合理化・無人化の推進
- IoT活用による稼働率向上



数値目標

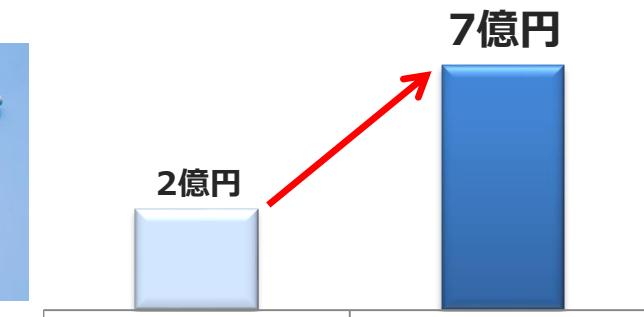
売上高

17/2 実績 21/2 目標



営業利益

17/2 実績 21/2 目標



数値目標 (21/2)

売上高

30億円

営業利益

3億円

戦略 (重点施策)

■ M&A、事業提携等

■ 振動発電

- ・工場用センサユニット、各種ビーコン

■ クラウドサービス

- ・クーポンサービスによるマネタイズ

	17/2 実績	21/2 目標
売上高	489億円	600億円
営業利益	36億円	70億円
営業利益率	7.4%	11.7%
ROE	6.9%	12%以上

自己株式の取得を含めた総還元性向50%以上、
DOE 4.5%以上を目指とする

	17/2 実績	21/2 目標
総還元性向	(257.3%)	50%以上
DOE	4.1%	4.5%以上
1株当たり 配当金	48円	60円



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。